

「心身的課題」と「社会的課題」の両側面から
女性活躍をデザインするプロジェクト「W society」

自分自身のカラダを知るきっかけづくりを啓発し、
女性と社会に“気づき”を与えるキャンペーン「egg week」開催決定
アンバサダーには、柔道家・阿部詩選手、
モデル・島袋聖南さん、モデル・長谷川ミラさんが就任！

【開催期間】2021年10月28日(木)～11月4日(木)

初日には、ヘルスケアとライフデザインについて考える一般向けカンファレンスを開催
その後、一週間にわたってアンバサダーや賛同者による特別コンテンツを発信



W society



W society 実行委員会は、2021年10月28日(木)～11月4日(木)まで、自分自身のカラダを知るきっかけづくりを啓発し、女性と社会に“気づき”を与えるキャンペーン「egg week」を実施します。初日の10月28日(木)には、AOYAMA GRAND HALL(住所：東京都港区北青山2-14-6)およびオンラインにて、女性のヘルスケアやライフデザインをテーマとした一般向けカンファレンスを開催します。

今年9月に始動した女性の心身的課題(W=woman)×社会的課題(society)の両面から女性活躍をデザインするプロジェクト「W society(ダブリュー ソサイエティ)」のもと行う本キャンペーンは、まずは自分自身の現状を「知る」ことを課題解決へのスタートと位置づけ、女性のホルモン検査の一種である「AMH検査^{※1}」に対するリテラシー向上を図りながら、“これからの選択肢”を考える機会を創出していきます。

アンバサダーには、柔道家でまさに一人の女性として“カラダ”と向き合ってきた阿部詩選手、ライフスタイルが多くの女性の共感を呼んでいるモデルの島袋聖南さん、若い世代のオピニオンリーダーとしても発信を続けるモデルの長谷川ミラさんが就任。今の時代を象徴するような多様性あふれる3名が、カンファレンスへの登壇や特別コンテンツの発信を通じて、一週間にわたる「egg week」を盛り上げます。自分の“カラダの今”を知り、学びを深める一週間に、ぜひご期待ください。

※1 抗ミュラー管ホルモン検査：卵巣の予備能(卵巣の中に残っている卵胞の数の目安)を反映する血液検査。
自身のカラダの現状を知ることで、ライフプランの設計に役立てられることが期待されています。

■AMH 検査とライフプランの設計

女性がライフプランを設計していくうえで、「妊娠・出産」は大きなイベントのひとつでありながら、日本国内の不妊治療件数は年々増加。また晩婚化などの要因から不妊治療を開始する年齢自体も高齢化し、体外受精件数が年間約 45 万件を超える“世界一の不妊治療大国^{※2}”でもあります。欧米と比較すると“自分自身のカラダ”に向き合い始めるタイミングが遅いため、治療技術は世界一とも言われる一方で、“ライフプランの選択の幅”が知らず知らずのうちに狭まっているのが現実です。

今回の「egg week」でフォーカスする AMH 検査（抗ミュラー管ホルモン検査）は、卵巣の予備能（卵巣の中に残っている卵胞の数の目安）を反映する血液検査です。胎児期に卵巣内につくられた卵子は、その後体内で増えることはなく、出生時に約 200 万個あったものが 35 歳時点で約 1~3 万個にまで減少するとされています。AMH 検査によって自身の卵子の数や状態を知ることが、“自身のカラダの現在地”を把握し、ライフプランの設計に役立つことが期待されています。

※2 2017 年の体外受精件数を比較すると、日本=約 45 万件（世界 1 位）で、アメリカ=約 28 万件（世界 2 位）。
（日本産科婦人科学会データなどから算出）

■アンバサダーに阿部詩選手、島袋聖南さん、長谷川ミラさんが就任

「egg week」の取り組みを発信するアンバサダーとして、柔道家・阿部詩選手、モデル・島袋聖南さん、モデル・長谷川ミラさん（五十音順）の 3 名にプロジェクトにご参画いただきます。阿部詩選手には、現役アスリートとして第一線で活躍されている中、“一人ひとりの女性がカラダに向き合いライフプランを考えていく大切さ”の発信にご賛同いただき就任が決定。島袋聖南さん、長谷川ミラさんにも、それぞれのライフステージでの経験から、「自分自身のカラダについて知ること」や「これからの選択肢を考えること」の重要性にご賛同いただき、今回の就任が決定しました。

アンバサダーの皆さまには、初日に行われるカンファレンス等にご登壇いただくほか、「egg week」公式サイト・SNS などを通じて、コメントや想いをまとめた特別コンテンツを発信。一週間にわたり、「自分のカラダの今を知り、学ぶ機会」を創出します。

■カンファレンスを皮切りに、一週間にわたって「自分のカラダの今を知り、学ぶ機会」を創出

「egg week」初日となる 10 月 28 日（木）には、一般向けカンファレンス「egg week カンファレンス」を実施します。カンファレンスの第一部は「AMH 検査から紐解くライフデザイン～未来の妊娠・出産のために、“カラダの今”を知る方法とは？～」と題し、AMH 検査にまつわる基礎知識を産婦人科医師が解説。アンバサダーの長谷川ミラさんと共に、妊娠・出産といった「これからのライフプランの選択肢」について考えながら、今だからこそ知っておきたい“AMH 検査にまつわるキホン”を紐解きます。

第二部では「カラダと向き合い“私”を描く～女性の不調に備えるためのヒントとは～」と題し、ライフステージごとに変化する女性の不調に着目。アンバサダーの島袋聖南さんにご登場いただき、生理痛や生理不順といった日々の悩みをはじめ、ライフステージが変わるごとに向き合う妊娠や出産、それらにまつわる不調や不安との向き合い方について医師も交えてクロストーク。不調や不安と向き合い、“自分らしく輝くためのヒント”を紐解きます。カンファレンスは各回 50 名様（予定）が会場にてご参加いただけるほか、YouTube にてオンライン配信いたします。

■カンファレンス概要

名 称：egg week カンファレンス

日 時：2021年10月28日（木） 第一部：18:00～19:00 第二部：19:30～20:30

会 場：AOYAMA GRAND HALL（住所：東京都港区北青山2-14-6）およびYouTube ライブ配信

参加費：無料

定 員：会場参加/各回50名様（予定） ※オンラインは事前登録制でライブ・アーカイブ共に視聴可能です。

応募方法：以下2つのカンファレンスプログラムから、ご希望の回と参加方式（会場参加/オンライン）を選択いただき、「Peatix」サイトからお申し込みください。

会場参加は定員となり次第締め切りとさせていただきます。

<https://wsociety-official.peatix.com/>

第一部「AMH 検査から紐解くライフデザイン～未来の妊娠・出産のために、“カラダの今”を知る方法とは～」

日 時：2021年10月28日（木）18:00～19:00

登壇者：アンバサダー 長谷川 ミラさん
 メディカルパートナー 杉山カールさん（杉山産婦人科 理事長）
 モデレーター 笹川 友里さん



女性がライフプランを考えるうえで助けになる手段のひとつ＝AMH 検査【抗ミュラー管ホルモン検査：卵巣の予備能（卵巣の中に残っている卵胞の数の目安）を反映する血液検査】。自身のカラダの現状を知ること、ライフプランの設計に役立てられることが期待されています。

「いつかは結婚して子どもも欲しいと思っているけど、今すぐにじゃない気がする。でも自分のカラダのことはちゃんと知っておきたい…」いつか来るかもしれない日のために、今からできることとは？アンバサダーを務める長谷川ミラさんと共に、今だからこそ知っておきたい“AMH 検査にまつわるキホン”を紐解きます。

第二部「カラダと向き合い“私”を描く～女性の不調に備えるためのヒントとは～」

日 時：2021年10月28日（木）19:30～20:30

登壇者：アンバサダー 島袋 聖南さん
 メディカルパートナー 岡田 有香さん
 パネリスト 田久世 友希奈さん
 モデレーター 笹川 友里さん
（聖路加国際病院/日本産科婦人科学会 専門医）
 （ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーフロント本部）



「女性活躍推進」という言葉と共に、一見多くの女性が活躍しているように見える現代。ですが、個々人がライフステージごとに異なる“女性特有のカラダの悩みや迷い”を抱えながら、ライフプランを設計しているのも事実です。

生理痛や生理不順といった日々の悩みをはじめ、ライフステージが変わるごとに向き合う妊娠や出産、それらにまつわる不調や不安のこと。“ゆらぎ”ともいふべき不調や不安とどう向き合い、どうすれば自分らしく輝けるか。アンバサダー・島袋 聖南さんと共に、女性のライフステージごとに訪れる不調・不安と向き合うためのヒントを紐解きます。

※一般の方からのお問い合わせは ws@goodandco.jp（W society 実行委員会）まで。

※イベントの最新情報は「egg week」公式サイト（<https://eggweek.com/>）にて順次公開いたします。

■アンバサダー プロフィール



阿部 詩 (あべ うた)

2000年7月14日生まれ、兵庫県出身。日本体育大学所属。

柔道家。2017年「グランプリ・デュッセルドルフ」を史上最年少で優勝。

2018年・2019年「世界柔道選手権東京大会」を2連覇。他多数の世界大会で優勝を果たす。2021年7月、「東京五輪」柔道女子52kg級で金メダルを獲得。柔道選手として活躍するかたわら、自身の将来のライフプランについて各メディアで発信することも。アスリートの一面だけではなく、現代を象徴する“ひとりの女性”として多くの注目を集めている。



島袋 聖南 (しまぶくろ せいな)

1987年4月4日生まれ、沖縄県出身。

モデル兼ブランドディレクター。2012年にリアリティバラエティ番組「テラスハウス」に出演。モデルとして活動している傍ら、ヨガのインストラクターや自身のブランド「UNCHAINED」「QOBE」のディレクターを務める。

番組で交際をスタートした石倉ノアさんと約2年半の交際を経て、2020年12月に結婚。SNSの他、テレビCMやバラエティ番組など多方面で活躍中。



長谷川 ミラ (はせがわ みら)

1997年7月7日生まれ、東京都出身。

モデル。南アフリカと日本のミックス。2017年にオールジェンダーに向けたブランド「JAMESIE」をローンチ。ロンドンでのファッション留学中に、学校の課題や社会環境への意識の高さに影響を受け、社会が抱えるさまざまな問題について考えるように。各メディアで活躍するだけでなく、自身のバックボーンやブランド、ジェンダーレス、SDGsに関わる各課題に対する情報発信も行っている。

(五十音順、敬称略)

■モデレーター プロフィール



笹川 友里 (ささがわ ゆり)

1990年9月5日生まれ、神奈川県出身。

制作ADとアナウンサー二つの職種で8年間TBSテレビに在籍。

「モノを作る楽しさ」と「言葉で伝える重要性」を強く感じ、2021年3月にsetten株式会社を設立。現在は、ラジオパーソナリティ、モデレーターとして伝える活動をしつつ、モデル、プロダクト開発、コミュニケーションマネジメントなどの活動も展開中。

(敬称略)

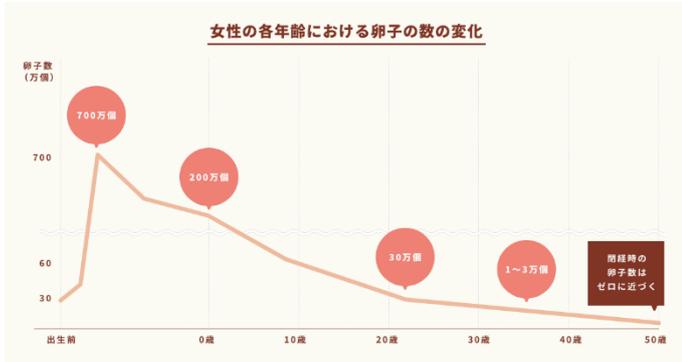
※報道関係者の皆さまへ

10月28日(木) 正午~13時 AOYAMA GRAND HALLにて、阿部詩さんご登壇の記者発表会を行います。記者発表会および一般向けカンファレンスのご取材につきましては、後日PR事務局よりご案内いたします。

参考資料：カラダや卵子にまつわるコト

●加齢とともに減少する卵子の数。閉経時にはゼロに近づいていきます。

「妊娠・出産」というライフイベントを考える際に重要なのが“卵子”のお話です。胎児期に原始卵胞という形で卵巣内に卵子が作られると、その数は増えることはなく、加齢と共に減少していきます。出生時に約200万個あった卵子は、35歳時点で約1~3万個に。閉経時の卵子数はゼロに近づいていくことが分かっています。[左図（出典：神奈川県健康医療局「丘の上のお医者さん」ウェブサイトのデータを元に加工）]



●知らず知らずのうちに狭まるライフプラン選択肢の幅

ライフイベントのひとつ「妊娠・出産」にフォーカスしてみると、不妊治療件数は年々増加。日本は、体外受精件数が年間約45万件を超える、世界一の不妊治療大国でもあります。ですが、晩婚化などの要因から、不妊治療を開始する年齢自体も高齢化。治療技術は世界一とも言われる一方で、“ライフプランの選択肢の幅”が知らず知らずのうちに狭まっているのが現実です。[右図（出典：日本産婦人科学会 2010 を基に厚生労働省で作成されたデータを元に加工）]

●世界一の不妊治療大国でも“初めの一步”が遅い現実

体外受精の件数と生まれる子どもの割合は、米国がおおよそ4回に1人に対し、日本は8~9回に1人の計算に。米国が高い数値を出しているのは、「体外受精を行う年齢が低い」ことが大きな要因です。日本国内の出生数が80万人を割ることが予想される今、“ライフプランの選択肢の幅”を拡げるためには、“初めの一步”をいつ踏み出すかが鍵となっています。

	日本	アメリカ
出生数	91.8万人	378.8万人
体外受精件数	約45万件	約28万件 (世界2位)
体外出生数	5.6万人	7.8万人
体外受精出生割合	約12%	約27%
体外受精平均年齢	40歳 (米国より6歳も上)	34歳

出典：CDC ART Report 2017 および 日本産婦人科学会の同年の公表データを比較して作成

■「W society (ダブルユー ソサイエティ)」とは

「働くこと」「結婚すること」「出産すること」「両立すること」… ライフプランの選択肢が広がり多様化している今、“ウーマン・エンパワーメント”が指し示す答えとは、決して一つでは無いはず。「すべての女性が納得して充実したライフスタイルを築ける社会」を目指して生まれた、女性の心身の課題 (W=woman) × 社会的課題 (society) の両面から女性活躍をデザインするプロジェクトです。「知る」「学ぶ」「変える」の3つを軸に各施策を展開し、企業横断・産官学連携の社会参画型プロジェクトとして、課題解決に寄与する施策の社会実装および社会変革を推進しています。

プロジェクト名： W society (カタカナ表記：ダブルユー ソサイエティ)

コミッティメンバー (※)： 小野 綾 (ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 広報部門 部門長)

山中 雅恵 (パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社 取締役 執行役員副社長)

島田 由香 (ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 人事総務本部長)

次原 悦子 (株式会社サニーサイドアップグループ 代表取締役社長)

後援： 一般社団法人 日本経済団体連合会 (経団連)

公式ホームページ： <https://wsociety.jp/> (W society) <https://eggweek.com/> (egg week) ※2021年10月現在

<本件の報道に関するお問い合わせ先>

W society 実行委員会 (株式会社グッドアンドカンパニー内)

広報担当：小森 (070-3239-1470)、田中 (070-1639-9624)、井口、佐川、奥山 Email: ws@goodandco.jp